

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、足立医療センター周産期新生児診療部新生児科（NICU/GCU）は、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 在胎 28 週以降の早産児における NIV-NAVA の有効性の検討

[研究対象者]

2010年1月～2024年3月までの間に、東京女子医科大学東医療センター（現足立医療センター）周産期新生児診療部新生児科に入院された在胎28週以降の早産で出生されたお子さんとそのお母さん

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、アプガースコア、分娩方法、母体情報、入院日、家族歴、病歴、検査結果（気管支鏡、血液、画像、生理的検査など）、治療内容、経過、退院日、在宅医療 等

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

早産児において、挿管期間をなるべく短くする管理が望ましいとされています。NAVA(Neurally Adjusted Ventilatory Assist)は横隔膜電氣的活動を利用し、呼吸補助のタイミングや吸気圧および換気量を制御する人工呼吸器モードであり、NIV-NAVAは非侵襲的にNAVAを行うことで強力な呼吸サポートを行うことが可能です。抜管後にNIV-NAVA管理を行うことで挿管期間を短くできることは一般的に知られていますが、急性期から挿管せずにNIV-NAVA管理を行うことで挿管自体を回避できるかどうかは明らかになっていません。この研究では、在胎28週以降の早産児におけるNIV-NAVA管理の有効性について検討を行います。この研究により、NIV-NAVAの有効性について明らかになり、より適切な治療につながる可能性があります。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2027年3月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 岩本絹子

研究責任者：東京女子医科大学附属足立医療センター 新生児科 准教授 山田洋輔

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学附属足立医療センター 新生児科 助教 池田健太

電話：03-3857-0111（応対可能時間：平日9時～16時）